

水中残留農薬の中長期的 リスク評価の背景と展望

—新しいモニタリング手法の解説と実演を交えて—

本セミナーでは、今後さらなる対策が必要となる水環境中に残留する農薬の中長期的なリスク評価に関連して、行政、濃度モニタリング、現場の生物影響試験の視点から、専門家の方々に実例を交えて解説をしていただきます。本セミナーは6月開催予定を新型コロナ感染拡大防止のため延期していましたが、下記の要領で改めてWeb開催するものです。

開催日：2021年1月22日（金）13：30～17：00

開催場所：Web開催（Zoom）

参加費：環境技術学会会員および学生1,000円、一般2,000円

* Web申し込み後、2021年1月15日（金）までに下記へ振り込みをお願いします。

振込先：（ゆうちょ銀行から）記号14660 番号23243941

（他行から）普通 四六八店（ヨンロクハチ店）2324394

口座名義 環境技術学会

* 送金料は各自でご負担ください。振込時に申込時のお名前とお電話番号を振込名義欄にご入力ください。

定員：250人（先着順）

申込期限および申込先：2020年10月30日～2021年1月15日の間に下記サイトもしくはQRコードにてお申し込みください。 <https://ws.formzu.net/dist/S8173686/>

* 申込者にはセミナー受講のための情報、講演要旨の情報などを後日お知らせします。

* 本セミナーは土木学会継続教育（CPD）プログラム（3.2単位）の受講証明書を発行予定です。ご入用の方は、参加申込時にお申し込みください（無料）。なお、土木学会で証明する単位が他団体のルールにより認められないことがあります。

問い合わせ先：seminar_jimukyoku@jriet.net（環境技術学会 学術委員会 事務局）



…… 講演内容 ……

開会挨拶、趣旨説明 (13：30～13：40)

(1) 「農薬取締法の改正と農薬による長期的な生態影響への対応」
環境省水・大気環境局土壌環境課 上迫大介 (13：40～14：25)

(2) 「中長期的な平均濃度の実測を可能にする新たなモニタリング手法」
パッシブサンプラー取り扱いの実演
地方独立行政法人大阪府立環境農林水産総合研究所 矢吹芳教 (14：25～15：35)

(3) 「現場生物アッセイ法の手法と今後の方向性」
バイオアッセイキットの取り扱い実演
国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構 横山淳史 (15：50～17：00)

閉会挨拶